# 第4章

# 水 環 境

# 第4章 水環境

"水は生命の源である"と言われる程、私たちをとりまく水環境は非常に重要なものです。自然界の水は汚濁物質を自ら浄化しようとする能力を持っていますが、それには限界があり、それを越える汚れがあると、元の清らかな水には戻りません。近年、汚れの原因は産業活動によるもののほか、一般家庭から出る生活排水によるものが大部分を占めてきています。

## 第1節 水質汚濁の現況

本年度の水質調査については次の項目について実施しました。

- 1. 河川水質調査
- 2. 地下水質調查

#### 1. 河川水質調査

(1)調査目的

本調査は、市内の主要河川について、その水質環境の現況を把握するために実施しました。

(2)調査地点

No.1 天野川(枚方市境)

No.3 天野川(羽衣橋)

No.5 江尻川(新関西製鐵㈱星田工場下流)

No.7 野々田川·北代水路(倉治橋北)

No.2 天野川(逢合橋)

No.4 星田中川(天野川合流前)

No.6 傍示川(大谷橋下流)

No.8 がらと川(倉治橋南)

(3)調査結果(水質測定結果総括表・項目別汚濁濃度及び経年変化は資料水-1~8を参照)

水質測定項目は、大きく分けて生活環境項目・健康項目・特殊項目と分類されています。生活環境項目は天野川の基準点を対象に決められた数値であり、それ以外の項目は全公共用水路及び上水道水源水域(傍示川以外)として、すべてが対象になります。

生活環境項目のなかの代表的な汚濁指標であるBOD(年平均)で見ると、No.8がらと川が最も高く (13mg/L)、次いで高いのはNo.7野々田川 (7.9mg/L)でした。

健康項目は、測定した3地点すべてにおいて殆どの項目で検出限界未満でした。検出された項目(硝酸性及び亜硝酸性窒素・ふっ素・ほう素)であっても基準を超えることはありませんでした。

特殊項目では、アンモニア性窒素が2地点で大阪府の環境保全目標値を超えていました。

次に各河川のまとめを報告します。

#### ○天野川(No.1,No.2,No.3)

天野川は、奈良県より下流において生活環境項目(生活環境の保全に関する項目)では環境基準B類型(天野川のみ対象)に属しています。

環境基準と測定結果(年間平均値)を比べると、生活環境項目では、河川の汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)は3地点(枚方市境、逢合橋、羽衣橋)で1.2~1.9mg/Lであり、全てにおいて基準値(3mg/L)を下回っていました。浮遊物質量(SS)についても3地点とも2~4mg/Lで

環境基準 (25 mg/L) を超えるものはありませんでした。大腸菌群数については、 $1.6 \times 10^4 \sim 9.7 \times 10^4 \text{MPN}/100 \text{mL}$ となり全地点で環境基準 (5000 MPN/100 mL) を超えていました。pHは、3地点ともアルカリ側で基準不適になることがありました。

健康項目では、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素以外の一般的に有害物質といわれている項目については、全て検出限界未満でした。また上記3項目についても環境基準を超える事はありませんでした。

その他の項目では、アンモニア性窒素が、 $0.09\sim0.17$ mg/Lと2地点で大阪府の上水道水源水域にかかる環境保全目標値を超えていました。

経年変化では、ほぼ横ばいで推移しています。

#### ○星田中川(No.4)

妙見東·南星台·星田旧村落·星田北地区の準工業及び工業地域を流下し、天野川に流入しています。

BOD及び大腸菌群数で基準を超えていました。経年変化では、全窒素と全リンついては増加傾向を示していました。

#### ○江尻川(No.5)

星田北地区を流下し、枚方市で天野川へ合流しており、採水地点では川幅が狭く、水量は少なくなっています。

BOD、大腸菌群数と全亜鉛で基準を超えていました。経年変化では全窒素がやや増加傾向にあります。

#### ○傍示川(No.6)

南星台地区の南側から寝屋川市の方に流下している河川で、本調査の中で唯一寝屋川水系に属しています。

pH及び大腸菌群数については基準を超えていましたが、その他の項目については良好な値となっています。経年変化では、どの項目もほぼ横ばいで推移しています。

#### ○野々田川·北代水路(No.7)

枚方市津田地区の旧村落から工業地域・工業専用地域を流下し、交野市域では工業地域を流下しています。

pH、BOD及び大腸菌群数で基準を超えていました。これらの項目をはじめ、他の河川に比べ汚濁負荷量の多さが目立っています。経年変化では、全項目とも横ばい又は減少傾向にありました。

#### ○がらと川 (No.8)

東倉治地区から倉治地区を通り、幾野の工業地域を流下しています。

pH、BOD、大腸菌群数で基準を超えていました。野々田川と同様に汚濁負荷量の多さが目立ちます。

#### 2. 地下水質調査

平成26年度は、府域の全体的な地下水の水質の状況を把握するために実施する概況調査と、これまでに地下水汚染が確認された箇所の周辺井戸について継続監視調査が行われました。地下水汚染の継続監視調査を行っているのは、有機塩素系物質による汚染が1地区です。

#### (1)調査概況

大阪府による概況調査(定点方式)として年2回と、汚染地区での継続監視調査として年2回の調査が実施されました。平成26年度調査では、有機塩素系物質による汚染地区の幾野の井戸で環境基準を超過していました(表4-1、表4-2)。

表4-1 概況調査結果

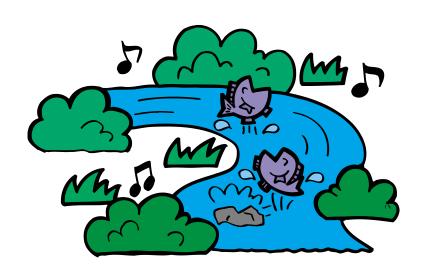
単位:mg/L

地域	項目	鉛	砒素	ベンゼン	ふっ素	ほう素
	環境基準	0.01	0.01	0.01	0.8	1
私市	H26.9.30	<0.005	<0.005	<0.001	0.15	<0.02
	H27.1.29	<0.005	<0.005	<0.001	0.12	<0.02

#### 表4-2 継続監視調査結果

単位:mg/L

地域	項目	塩化 ビニル モノマー	トリクロロ エチレン	テトラクロロ エチレン	1,1,1- トリクロロエタン	1,1- シ <sup>*</sup> クロロエチレン	1,2- ジクロロエチレン
	環境基準	0.002	0.01	0.01	1	0.1	0.04
幾野	H26.10.29	0.011	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	0.084
茂野	H27.2.17	0.0066	<0.001	<0.0005	<0.0005	<0.002	0.036



### 第2節 水質汚濁防止対策

#### 1. 法律・条例による規制

法律による規制としては、水質汚濁防止法及び瀬戸内海環境保全特別措置法があります。水質汚濁防止法では、有害物質などを排出させる施設を特定施設とし、この設置の届出を義務付けています。有害物質を使用する特定施設を設置している場合は公共用水域への排水量の多少にかかわらず規制されます。生活環境項目については平均排水量が30m³/日以上について濃度規制を行い、さらに、平均排水量が50m³/日以上の特定事業場については濃度規制に加えて「化学的酸素要求量に係る総量削減計画」に基づき総量規制を行っています。また、平成14年10月からは、CODに加えて窒素・リンについても総量規制が実施されています。

瀬戸内海環境保全特別措置法では、瀬戸内海の水質保全を目的とし、最大排水量が 50m³/日以上の工場・事業場が 特定施設の新・増設、または構造などの変更を行う場合、府知事の許可が必要であるとしており、許可申請時に排水量・ 汚濁物質などが公共用水域に与える影響について事前評価を義務付けています。

大阪府では、大阪府生活環境の保全等に関する条例のなかで、法律の規制に加えて届出施設及び規制対象項目を 追加し規制しています。

#### 2. 水質汚濁改善の施策

本市における河川調査では、市内河川において大腸菌群数が環境基準を超過している状況が続いていますが、水質の汚濁を減らす事が大腸菌の減少にもつながることから、更なる下水道の普及や、工場・事業場の水質管理の徹底などが必要です。本市における公共下水道の普及率は94.7%(平成26年度:水洗化処理区域内人口普及率)であり、今後も整備を進めていくところです。また、市内の生活排水全体の対策を進める基本として、交野市生活排水処理計画が策定されています。

地下水汚染が現在確認されている地区では、確認当時に周辺への広がり調査並びに、周辺の事業所調査及び関係 事業所への改善指導などを実施したのち、代表点において定期モニタリング調査を実施し、継続監視を行っているところです。

近年は、市民ボランティアによる河川清掃活動などが積極的に実施されており、市民の水を大切にする思いがこれからもますます広がりを見せていくことが、交野の水環境保全へとつながっていくこととなります。

平 成 26 年 度 水 質 測 定 結 果 総 括 表

<u> </u>				平	26 4	中		測	疋	治 果 総	` ;	括 表			
	地点番号					No. 1		No. 2	No. 3						
	河川名						天野川			天野川		天野川			
	地点名						枚方市境			逢合橋		羽衣橋			
	定項		·	測定値		平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	平均	最小値 ~ 最大値	測定回数	
L	目		環境基準値	水源水域	その他の水域			奴			奴		<u> </u>	奴	
	рН	_	6.5~8.5			-	7.5 ∼ 8.9	4	-	7.8 ~ 8.8	4	-	7.4 ~ 8.6	4	
生	BOD	mg/1	3mg/1以下			1. 2	0.8 ~ 1.6	4	1. 2	0.9 ~ 1.5	4	1.9	1.1 ~ 3.0	4	
活	COD	${\rm mg}/1$	_			4. 4	3.4 ~ 5.8	4	4. 3	3.3 ~ 5.2	4	5.8	4.4 ~ 7.8	4	
環	浮遊物質量	${\rm mg}/1$	25mg/1以下			4	<1 ∼ 10	4	2	<1 ∼ 5	4	4	<1 ∼ 8	4	
境	大腸菌群数	MPN/100m1	5000MPN/100m1以下			9. 7E+04	1. 7E+03 ∼ 3. 5E+05	4	1. 6E+04	1. 3E+03 ∼ 3. 3E+04	4	8. 0E+04	1.7E+03 ∼ 2.4E+05	4	
項	全窒素	${\rm mg}/1$	_			1.6	1.2 ~ 1.9	4	1.6	1.1 ~ 2.0	4	2. 1	1.6 ~ 2.6	4	
	全リン	mg/1	_			0. 13	0.048 ~ 0.22	4	0. 13	0.076 ~ 0.21	4	0. 11	0.047 ~ 0.24	4	
目	全亜鉛	mg/1	0.03mg/1以下			0.011	0.008 ~ 0.014	4	0.013	0.010 ~ 0.020	4	0.020	0.014 ~ 0.030	4	
L	ノニルフェノール	${\rm mg}/1$	0.002mg/1以下			0.00006	0.00006 ~ 0.00006	1	<0.00006	<0.00006 ~ <0.00006	1	0.00012	$0.00012 \sim 0.00012$	1	
	カドミウム	${\rm mg}/1$	0.003mg/1以下			<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003	2	<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003	2	<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003	2	
	全シアン	${\rm mg}/1$	検出 されないこと			<0.1	<0.1 ∼ <0.1	2	<0.1	<0.1 ~ <0.1	2	<0.1	<0.1 ~ <0.1	2	
	鉛	${\rm mg}/1$	0.01mg/1以下			<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	
	六価クロム	${\rm mg}/1$	0.05mg/1以下			<0.02	<0.02 ~ <0.02	2	<0.02	<0.02 ~ <0.02	2	<0.02	<0.02 ~ <0.02	2	
	ヒ素	${\rm mg}/1$	0.01mg/1以下			<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	
	総水銀	${\rm mg}/1$	0.0005mg/1以下			<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	
	アルキル水銀	${\rm mg}/1$	検出 されないこと												
	PCB	${\rm mg}/1$	検出 されないこと			<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	1							
	シ゛クロロメタン	mg/1	0.02mg/1以下			<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	
	四塩化炭素	mg/1	0.002mg/1以下			<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	
	1, 2-ジクロロエタン	mg/1	0.004mg/1以下			<0.0004	<0.0004 ~ <0.0004	2	<0.0004	<0.0004 ~ <0.0004	2	<0.0004	<0.0004 ~ <0.0004	2	
健	1, 1-ジクロロエチレン	mg/1	0.1mg/1以下			<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	
	シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/1	0.04mg/1以下			<0.004	<0.004 ~ <0.004	2	<0.004	<0.004 ~ <0.004	2	<0.004	<0.004 ~ <0.004	2	
康	1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/1	1mg/1以下			<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	
-07	1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/1	0.006mg/1以下			<0.0006	<0.0006 ~ <0.0006	2	<0.0006	<0.0006 ~ <0.0006	2	<0.0006	<0.0006 ~ <0.0006	2	
項	トリクロロエチレン	mg/1	0.01mg/1以下			<0.001	<0.001 ~ <0.001	2	<0.001	<0.001 ∼ <0.001	2	<0.001	<0.001 ∼ <0.001	2	
目	テトラクロロエチレン	mg/1	0.01mg/1以下			<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	<0.0005	<0.0005 ~ <0.0005	2	
	1, 3-ジクロロプロペン	mg/1	0.002mg/1以下			<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	<0.0002	<0.0002 ~ <0.0002	2	
	チウラム	mg/1	0.006mg/1以下			<0.0006	<0.0006 ~ <0.0006	1	<0.0006	<0.0006 ~ <0.0006	1	<0,0006	<0.0006 ~ <0.0006	1	
	シマジン	mg/1	0.003mg/1以下			<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003	-	<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003	1	<0.0003	<0.0003 ~ <0.0003		
	チオベン	mg/1	0.02mg/1以下			<0.002	<0.002 ∼ <0.002	1	<0.002	<0.002 ∼ <0.002	1	<0.002	<0.002 ~ <0.002	1	
	カルブ ベンゼン	mg/1	0.01mg/1以下			<0.001	⟨0,001 ∼ ⟨0,001	2	<0.001	<0.001 ~ <0.001	2	<0.001	<0.001 ~ <0.001	2	
	セレン	mg/1	0.01mg/1以下			<0.002	⟨0,002 ∼ ⟨0,002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	<0.002	<0.002 ~ <0.002	2	
	硝酸性及び亜硝酸性窒素	mg/1	10mg/1以下			1. 4	1.1 ~ 1.6	2	1. 4	1.2 ~ 1.6	2	1. 4	1.0 ~ 1.8	2	
	ふっ素	mg/1	0.8mg/1以下			0. 11	0.08 ~ 0.13	2	0. 08	⟨0.08 ~ 0.08	2	0. 39	0.08 ~ 0.70	2	
	ほう素	mg/1	1mg/1以下			0. 02	0.02 ~ 0.02	2	0. 03	0.03 ~ 0.03	2	0. 03	0.03 ~ 0.03	2	
	1,4-ジオキサン		0.05mg/1以下			<0.005	<0.005 ~ <0.005	2	<0.005			<0.005		2	
H	n-ヘキサン抽出物	mg/1	J. VOIIIg/ 1ΕΛ Γ	検出	検出	<0.005	<0.005 ~ <0.005	1	<0.005	<0.005 ~ <0.005 <0.5 ~ <0.5	2	<0.005	<0.005 ~ <0.005 <0.5 ~ <0.5	1	
特	n-ペキザン抽出物 フェノール類			されないこと 0.005mg/1以下	されないこと 0.01mg/1以下	<0.005	<0.05 ~ <0.05 <0.005	1	<0.005	<0.05 ~ <0.05 <0.005 ~ <0.005	1	<0.005	<0.05 ~ <0.05 <0.005 ~ <0.005	1	
殊	銅	mg/l				<0.005	⟨0.005 ~ ⟨0.005 ⟨0.005 ~ ⟨0.005	1	0.007	0.007 ~ 0.007		0.008	0.008 ~ 0.008	1	
		mg/l			0.05mg/1以下						1				
項	溶解性鉄	mg/l		0.3mg/1以下	1.0mg/1以下	0.09	0.09 ~ 0.09	1	0. 07	0.07 ~ 0.07	1	0. 13	0.13 ~ 0.13	1	
目	溶解性マンガン	mg/1		0.05mg/1以下	1.0mg/1以下	<0.005	⟨0.005 ~ ⟨0.005	1	<0.005	<0.005 ~ <0.005	1	<0.005	⟨0,005 ~ ⟨0,005	1	
$\vdash$	全クロム	mg/l		0.05mg/1以下	1.0mg/1以下	<0.005	⟨0.005 ∼ ⟨0.005	1	<0.005	⟨0.005 ∼ ⟨0.005	1	<0.005	⟨0.005 ∼ ⟨0.005	1	
その	陰イオン界面活性剤			0.5mg/1以下	0.5mg/1以下	<0.01	<0.01 ∼ <0.01	1	<0.01	<0.01 ∼ <0.01	1	<0.01	⟨0.01 ~ ⟨0.01	1	
の他	アンモニア性窒素	mg/1		0.1mg/1以下	1.0mg/1以下	0.09	0.05 ~ 0.12	2	0. 12	0.08 ~ 0.15	2	0. 17	0.04 ~ 0.29	2	
L	りん酸性りん	${\rm mg}/1$	_	_	_	0.038	0.038 ~ 0.038	1	0.06	0.06 ~ 0.06	1	0.030	0.030 ~ 0.030	1	

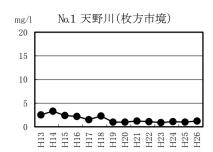
# 平成26年度水質測定結果総括表

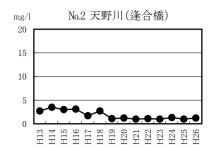
					20 -	十 /ス	///	貝	[八]	Λ_		•	111 12	`	
-		地点番号					No.	4			No. 5	No. 6			
				河川名			星田中	<b>□</b> ]			江尻川	傍示川			
1	則			地点名			天野川台	<b>}</b> 流前			新関西製鐵北		大谷橋		
	定項		測定値		平均	最小値	最小値 ~ 最大値		平均	最小値 ~ 最大値	測定回	平均	最小値 ~ 最大値		
	目		環境基準値	上水道 水源水域	その他の水域				回数			数			数
	рН	_	6.5~8.5			-	7. 2	~ 8.3	4	-	7.2 ~ 8.0	4	-	7.1 ~ 8.7	4
生	BOD	${\rm mg}/1$	3mg/1以下			6. 5	3. 4	~ 8.2	4	5. 3	3.9 ~ 8.6	4	1.8	1.6 ~ 2.1	4
活	COD	${\rm mg}/1$	l			13	9. 3	~ 16	4	8.3	6.1 ~ 9.6	4	4. 1	3.8 ~ 4.5	4
環	浮遊物質量	${\rm mg}/1$	25mg/1以下			4	3	~ 6	4	6	5 ~ 7	4	3	2 ~ 4	4
境	大腸菌群数	MPN/100ml	5000MPN/100ml以下			1. 3E+05	2. 8E+04	∼ 3.5E+05	4	1. 3E+05	1.7E+04 ∼ 3.5E+05	4	4. 6E+04	1. 3E+03 ∼ 1. 3E+0	5 4
	全窒素	${\rm mg}/1$	l			7. 1	2. 4	~ 11	4	3. 4	1.8 ~ 5.9	4	1.5	1.3 ~ 1.8	4
項	全リン	${\rm mg}/1$	l			2. 7	0.80	~ 3.9	4	0. 51	0.28 ~ 0.73	4	0. 13	$0.075 \sim 0.22$	4
目	全亜鉛	${\rm mg}/1$	0.03mg/1以下	·		0. 024	0.019	~ 0.034	4	0. 12	0.050 ~ 0.26	4	0. 010	0.006 ~ 0.014	4
	ノニルフェノール	${\rm mg}/1$	0.002mg/1以下	·											

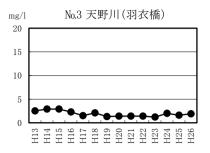
//		地点番号 河川名					No.	7		No. 8						
							野々日	田川	がらと川							
1	ĮĮ ,			地点名			倉治	橋		倉治橋						
	定項			測定値		平均	最小値	~ 最大値	測定回	平均	最小値	~ 最大値	測定回	平均	最小値 ~ 最大値	
	目		環境基準値	上水道 水源水域	その他の水域				数				数			数
	рН	-	6.5∼8.5			-	7. 6	~ 8.8	4	=	7.7	∼ 9.2	4			
生	BOD	${\rm mg}/1$	3mg/1以下			7. 9	2.8	~ 13	4	13	4. 4	$\sim$ 22	4			
活	COD	${\rm mg}/1$	ı			8.8	8. 2	~ 9.7	4	19	7.8	~ 30	4			
環	浮遊物質量	${\rm mg}/1$	25mg/1以下			6	3	~ 10	4	5	1	~ 9	4			
境	大腸菌群数	MPN/100ml	5000MPN/100m1以下			1. 0E+05	1. 7E+04	$\sim$ 3.5E+05	4	8. 9E+05	7. 9E+03	$\sim$ 2.4E+06	4			
	全窒素	${\rm mg}/1$	ı			4. 9	2. 4	~ 8.3	4	5. 7	3.3	~ 8.9	4			
項	全リン	${\rm mg}/1$	1			0.84	0. 52	~ 1.1	4	0.41	0.18	~ 0.74	4			
目	全亜鉛	${\rm mg}/1$	0.03mg/1以下			0. 029	0.016	~ 0.051	4	0. 021	0. 013	~ 0.031	4			
	ノニルフェノール	${\rm mg}/1$	0.002mg/1以下													

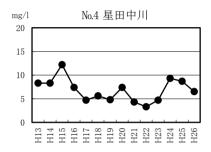
# BOD経年推移

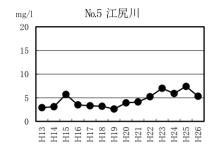
#### x-3

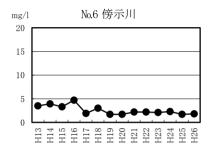


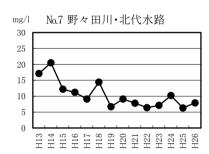


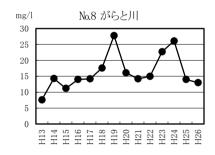




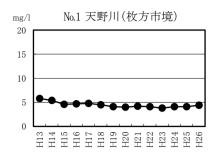


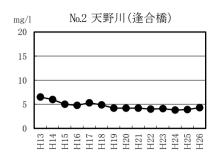


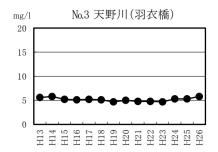


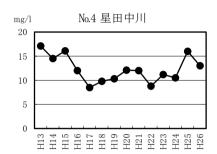


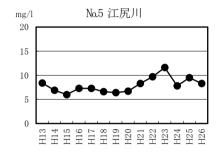
# COD経年推移

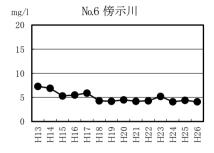


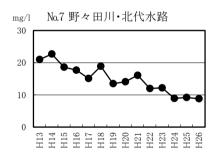


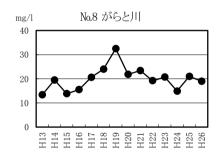




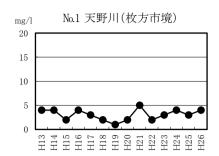


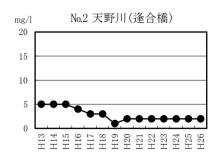


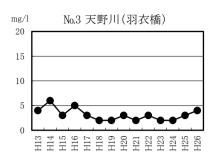


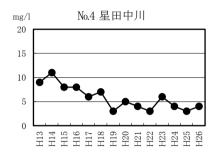


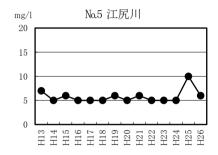
# SS経年推移

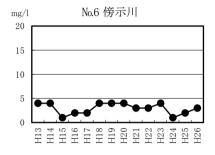


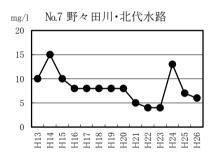


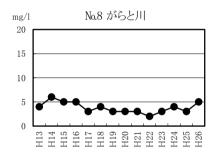




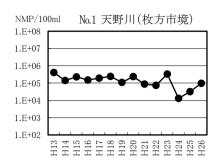


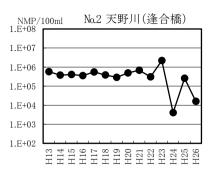


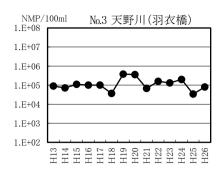


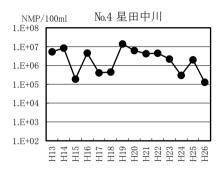


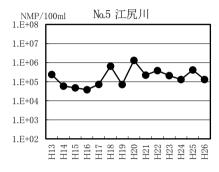
# 大腸菌群数経年推移

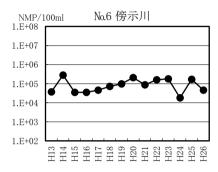


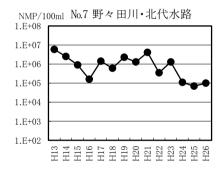


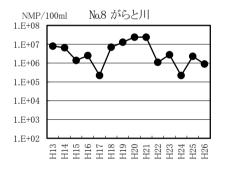




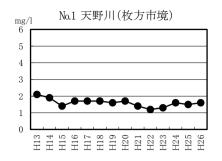


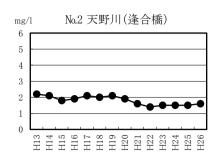


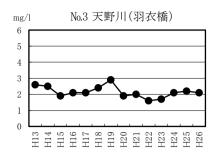


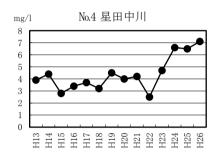


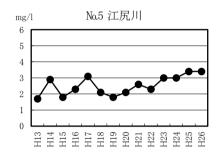
# 全窒素経年推移

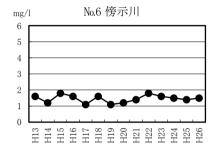


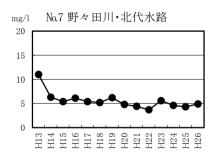


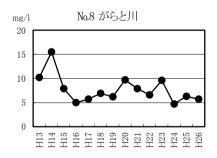












# 全リン経年推移

